

と き 2020. 02. 12 (水) 晴・暖

ところ 青野川桜見学8:51~9:16-65番・最福寺9:30-66番・岩殿寺-9:54-67番・安楽寺10:26-68番・東林寺11:05~12:04 (昼食)
61番・法泉寺13:22-60番・善福寺14:27-三島

参加=15名 歩数=約25000 距離=約15km。

南伊豆は、桜・桜・桜だった

1月度は雨中止だった。バスは12月最終の最福寺に向かう。途中、青野川の桜が満開なので、菜の花畑で降りて、青野川堤防を歩く。素晴らしい桜。すでに葉も少し出ている。遅いくらいだった。



下田・青野川

道の駅で再びバスに乗り、最福寺から巡礼開始。一つ目の岩殿寺まで1.5km。天気は良く温かい。

寺は無住職。サポーターが近くの檀家さん宅で御朱印をいただく。次の安楽寺に向かう。途中、休耕田でヤギを数頭飼っていた。飼い主がいたので聞けば、「畑などの雑草を食べさせる」といった。

以前は乳を搾ったそうだ。ただ、ヤギ乳を飲んだ経験者の〇さんの話では、「青臭くて（草）飲めなかった」そうだ。

安楽寺も無住職。本堂がカビ臭いので、窓を開けて空気の入替え。次の東林寺に進む。この辺りは、同じ伊豆でも、めったに訪れることがない所。近くに立派な「三島神社」があった。「島」が「嶋」でなかった。



岩殿寺



安楽寺



三島神社



東林寺



桜・梅



法泉寺



青空・桜・白衣

東林寺着いた。ここも無住職。住職は東京の方にいるらしい。以前、寺番の母と娘が、取っ組み合いの喧嘩をしていた。

東林寺境内で昼食。天気は良く温かい。有難い。午後は、いい感じの田舎道を進む。辺りは桜が満開だった。小さな峠を二つ越えて一色集落に向かう。峠周辺は、桜が満開で静かで美しいところ。ここを通るのは5～6回目だが田んぼが、どんどん減っている。

殆ど休耕田で草ボウボウ。ある意味、限界集落といえるかも。人口減・過疎・高齢化の象徴である。ただ、不思議なことに、何故か、バスは一日一便ある。

法泉寺着。道路から階段を少し上る。ここも無住職。寺の管理は集落の方が交代で務めている。今回は五ヶ寺訪ねるが四ヶ寺無住職。将来どうなるか心配である。檀家のご朱印係のオバサンが来てくれた。本堂の金ぴかの仏像が立派。何年か前、檀家衆がお金を出して手入れを行ったようだ。

寺を下って妻良（めら）トンネルを潜り、妻良・善福寺着。住職は女性。ご本尊の大日如来は平安時代の立派なものらしいが、ご開帳が60年に一回。

2～3年前、ご開帳の新聞記事があったので、我々は、もう生きているうちに見られない。今回は、ここで終了。桜が見事な「桜巡礼」でした。



六十番・善福寺（南伊豆町・妻良）



五色ローソクの意味（意味は様々、あります）



妻良在住の方の自家製のノリ